

第24回ショパン国際ピアノコンクール in ASIA アジア大会(ホール審査) 総評 幼児部門

●審査員 A

短い楽曲の中で様々な表現で演奏してくれました。体の大きさに関係なく楽器を良く鳴らしている方が多かったのは嬉しいことです。奇をてらうことなく自然に腕の重さを鍵盤にのせて響きを持った音を出すよう心がけて下さい。一生懸命表情をつけようとして過度な動きや、力んでしまい音が硬質にならないよう注意してください。ピアノを弾いていくにあたり、この時期に悪いクセがついてしまわないよう、のびやかに、日々の色々な経験を音に活かしていけるよう音楽の楽しさ面白さを存分に感じるようにして下さい。型にはめようとせず、自分の音を聴くことの習慣をつけ音が全てを物語るといこと土台作りができると良いですね。

●審査員 B

ピアノを専門的に学びたい若いピアニストへお伝えしたい7か条

1. すべての音は腕から生み出される
2. 常に、腕と指先が繋がっているという感覚を忘れないこと
3. すべての筋肉と腱から緊張を取り除くこと
4. 強弱をつけるときは、鍵盤を押しつけたり、叩きつけるのではなく、重さのバランスをコントロールすること
5. 肘から演奏しないこと
6. ルバートやアツチェレランドする際には、常に形式感と拍子感を意識すること
7. アーティキュレーションと強弱は、拍の位置と音の役割で決まる

●審査員 C

アジア大会に進出されたみなさん、おめでとうございます！みなさんの演奏を聴かせて頂くことは、大きな喜びでした。みなさんは、若い芸術家です。これからの人生を通して音楽がみなさんと共にあるよう願っています。

●審査員 D

幼児とは思えない歌いまわしの熱のこもった演奏が多かったです。今後も絵画やいろんな芸術にふれてスクスクとのびて行ってほしいです。

●審査員 E

弾き始めて数年でこんなに上達するのかと感心しました。右手と左手の音楽の役割を感じとり、お耳でも聴き分けが出来ると、これからのピアノ人生に役立つでしょう。音符の長さ、響きを保つこと。フレーズ始まりから終りまでを感じ、しっかり聴けるように。軽い響き、重い響きが使い分けられるといいですね。

●審査員 F

アジア大会進出おめでとうございます。皆さん今日までとても頑張ってきたと思います。ステージマナーもとても素晴らしかったです。課題曲のバロックの曲はどれもよくリズムを感じて拍感もちながら歌う事が大切です。決められたテンポの中で上手に指をコントロールしてリズムが崩れないようにしましょう。ポーランドの民謡や舞曲にはとてもかわいらしいステキな曲がたくさんありますので、この機会に弾いて頂きたいと思います。これからもまた頑張ってくださいね。